

平成 27 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会
議事録

1. 日時：平成 27 年 8 月 3 日(月) 14:00 ~ 15:00

2. 場所：情報科学技術協会内

3. 出席者：委員

永田 治樹	国立大学法人筑波大学名誉教授(SC8 リーダー)
中井 恵久	国立国会図書館
小泉 史子	公益社団法人日本図書館協会
菅野 朋子	国立大学法人東京大学
有田 寛之	国立科学博物館
鈴木 加奈子	学校法人立教大学

事務局 光富 健一 一般社団法人情報科学技術協会

4. 配布資料： 『平成 27 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会』

- (資料 1) 「平成 27 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 委員会出欠表(2015/8/3)
- (資料 2) 「平成 26 年度第 2 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事録」
- (資料 3) 「平成 27 年度社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動実施計画書」
- (資料 4) 「ISO/TC46/SC8 審議案件」
- (資料 5) 「ISO/DIS18461 に関するコメント(国立科学博物館 有田寛之)
- (資料 6) 「ISO/TC46 北京/SC8 プレナリー決議」
- (資料 7) 「2015 年 SC8 ウィーン総会 案内」

5. 議事：

永田リーダーにより議事を進行し、各資料に基づき説明があった。

5-1) 「平成 26 年度第 2 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事録」(資料 2)を承認した。

5-2)議題 1 「平成 27 年度実施計画及び国際提案のための体制作り」及び、議題 5 「今後の SC4 からの国際標準化提案について」(資料 3)

資料に基づき、以下のとおり事務局からの説明及び永田リーダーからの補足があった。

- ・情報科学技術協会(2014 年度～事務局)の下で ISO/TS46 国内委員会の活動は、経済産業省から三菱総合研究所に委託された事業に公募し、「“社会ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動”(デジタルアーカイブの利活動に関する国際標準化)」の申請(平成 27～29 年度の 3 年間のプロジェクト)が承認された。
- ・本年度の 3 つの事業目標のうち、「デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化」につ

いては、今後 WG1 を発足させる予定でメンバーを策定中である。また「デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子」については、既に WG2 が発足している。「デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備」については、各 SC が支援する方向である。

- ・ SC8 ではリポジトリをはじめとするウェブアーカイブスの質の向上を検討する必要がある。そのためには SC8 の国際 WG に常に出席して、日本から ISO の発信を行うなど国際的に活躍できる人材が必須となる。今後 SC8 のメンバーとして人材の提案をお願いしたい。

5-3) 議題 2 「ISO/TC46/SC8 投票審議案件」(資料 4、5)

ISO/DIS 18461 : "International museum statistics"に関する審議案件。「ISO/DIS18461 に関するコメント」に基づき、以下の通り検討を行った。

- ・ 構成については 2014 年の投票結果が反映されているほか、大きな変更点はない。
- ・ 修正を検討してもよいと思われる項目は、以下の通りである。

「6.6.4 バリアフリー」に関する記述が漠然としているため、より詳細に施設の整備状況を確認できるとよい。国内では具体的に詳細な設問を設けている。

「6.8.1 職員」については、図書館統計に合わせて属性を細分化した修正案を提案する。

- ・ 国内における博物館統計への影響について。

国内の博物館総合調査は 5 年に 1 度行われる(次回は平成 30 年)が、この調査に国際基準を合わせることができれば、国際比較も可能となる。国内の周知に向けて JIS 化も念頭に検討できることが望ましい。

- ・ 以上について、9 月いっぱいを目処に提案をまとめていただく。

ISO 9230:2007(Ed.2, vers.2) : "Determination of price indexes for print and electronic media purchased by libraries"に関する審議案件。

- ・ 図書館が購入している紙媒体資料及び電子媒体の物価指数についての案件で、4 年毎に見直しされる。

5-4) 議題 3 「ISO/TC46 北京/SC8 プレナリー決議」(資料 6)

- ・ 6 月 4 日に開催された北京 SC8 の会議について、各 WG の決議報告があった。

5-5) 議題 4 「2015 年 SC8 ウィーン総会について」(資料 7)

- ・ 10 月 13 日～16 日にかけて開催される SC8 総会であり、動向確認のため参加することが望ましい。

5-6) その他 : 「平成 27 年度第 1 回 JIS 原案作成委員会」 議事録参照

以上